

成人の誓い新たに！

平成17年町成人式

1月3日、町改善センターで成人式が開催され、本町出身者36名が晴れて成人の仲間入りをしました。

成人式は、新成人を祝い、成人の誇りと自覚を持たせるとともに、自ら教養を高め地域社会に貢献しようとする意欲付けと励ましの機会とすることを目的におこなわれているものです。

今年は昭和59年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた方が対象で、当日は33名がスーツや晴れ着を装い出席しました。

式では山口町長が「本日、大人の仲間入りという人生の節目にあたり、新しい希望と決意で力強い一歩を踏み出されることを心強く思います。今後も今日の新成人としての感激を忘れず人生の新しい出発点としての心構えを持ち、常に初心に返って研鑽に励まれることを期待いたします。」と式辞を述べました。

また、出席者全員でローソクの火を分け合う「もし火のつどい」がおこなわれ、収入役の持つ親火から次々と新成人の持つローソクへと分火。火が次々と広がり場内がローソクの火で

いっぱいになると神秘的な雰囲気に参加者も心を新たにしました。

その後「成長のあしあと」と題し、小中学生の頃の写真が前面のスクリーンに映し出されると、参加者からは幼い時の自分に笑いも飛び出すなどしていました。

最後に新成人を代表して上園智裕さんが「本日は、成人式をこのように開催していただきありがとうございます。新成人一同、心から感謝するとともに社会人として責任を

持つことの難しさを実感しました。またこれまで心の支えになり、何不自由なく健康に立派に育ててくださった両親に心から感謝の気持ちでいっぱいです。また今後は3町の歴史と良き伝統を受け継ぎながら、新成人で協力し合って新さつま町の明るい未来の先駆者になれるよう一人ひとりの個性を生かし、力を合わせて精一杯がんばっていきたい。」と力強い抱負を述べる

と会場からは激励の拍手が送られていました。



▶「もし火のつどい」



▶「もし火のつどい」でローソクを持つ出席者たち



▶選挙管理委員会から記念品を受け取る新成人代表



◀「新成人の決意」を発表する上園智裕さん